

デジタルトランスフォーメーション(DX)が急速に進む現代において、最先端技術に関するスキルや知識を備えたデジタル人材を育成する必要性が高まっている。NTT東日本群馬支店(高崎市)と高崎経済大学は2025年6月に連携協定を結び、デジタル技術を活用した地域の課題解決や活性化に貢献する人材育成に共同で取り組んでいる。同社の田島裕支店長と同大の水口剛学長がその取り組みやデジタル人材育成への展望を語り合った。

自ら考え動く人に

―連携協定締結の背景は。田島 当社はこれまで、電話や光回線など高品質で安定した通信インフラを提供してまいりました。が、昨今の社会情勢を鑑み、地域に根差した会社ならではの社会課題解決に貢献できる企業へと変革を進めているところです。2023年には、新たなパス(存在意義)に地域循環型社会の共創一を掲げ、情報通信分野以外にも業務のフィールドを広げています。今後の人口減少社会における地域

課題の解決には、食品やエネルギーなど、あらゆる分野でデジタルの力が必要です。人が担っていた役割をデジタルの力で補い、生活を支えることが肝要です。地域を維持するため、デジタルに強い人材を育てることは急務だと考えています。

水口 そのような情勢下で、教育に求められる役割はとも大きく変わっています。少ない人数でも社会を回している高い能力を持つ人材を育成する必要があります。人工知能(AI)やデジタルなどの新しい技術を使いこなせなければなりません。

協定締結の目的や期待すること

―協定締結の目的や期待すること。田島 デジタルを活用して地域課題を解決し、地域社会を支える人材を育てることが目的です。当社の有するさまざまなICT(情報通信技術)の設備、運用ノウハウといった「アセット」や、社会課題解決に向けた取り組みの知見などを学生に提供していきます。われわれも日々、地域の皆さまと向き合い、試行錯誤しています。今後の本格始動に向け、教育コンテンツの開発も進んでいます。

―協定締結の目的や期待すること。田島 デジタルを活用して地域課題を解決し、地域社会を支える人材を育てることが目的です。当社の有するさまざまなICT(情報通信技術)の設備、運用ノウハウといった「アセット」や、社会課題解決に向けた取り組みの知見などを学生に提供していきます。われわれも日々、地域の皆さまと向き合い、試行錯誤しています。今後の本格始動に向け、教育コンテンツの開発も進んでいます。

地域を支える人材育成を

知識活用する力養って

伴走して社会課題解決



NTT東日本群馬支店長 田島 裕

高崎経済大学長 水口 剛

―協定締結の目的や期待すること。田島 デジタルを活用して地域課題を解決し、地域社会を支える人材を育てることが目的です。当社の有するさまざまなICT(情報通信技術)の設備、運用ノウハウといった「アセット」や、社会課題解決に向けた取り組みの知見などを学生に提供していきます。われわれも日々、地域の皆さまと向き合い、試行錯誤しています。今後の本格始動に向け、教育コンテンツの開発も進んでいます。

―協定締結の目的や期待すること。田島 デジタルを活用して地域課題を解決し、地域社会を支える人材を育てることが目的です。当社の有するさまざまなICT(情報通信技術)の設備、運用ノウハウといった「アセット」や、社会課題解決に向けた取り組みの知見などを学生に提供していきます。われわれも日々、地域の皆さまと向き合い、試行錯誤しています。今後の本格始動に向け、教育コンテンツの開発も進んでいます。

―協定締結の目的や期待すること。田島 デジタルを活用して地域課題を解決し、地域社会を支える人材を育てることが目的です。当社の有するさまざまなICT(情報通信技術)の設備、運用ノウハウといった「アセット」や、社会課題解決に向けた取り組みの知見などを学生に提供していきます。われわれも日々、地域の皆さまと向き合い、試行錯誤しています。今後の本格始動に向け、教育コンテンツの開発も進んでいます。

―協定締結の目的や期待すること。田島 デジタルを活用して地域課題を解決し、地域社会を支える人材を育てることが目的です。当社の有するさまざまなICT(情報通信技術)の設備、運用ノウハウといった「アセット」や、社会課題解決に向けた取り組みの知見などを学生に提供していきます。われわれも日々、地域の皆さまと向き合い、試行錯誤しています。今後の本格始動に向け、教育コンテンツの開発も進んでいます。

―協定締結の目的や期待すること。田島 デジタルを活用して地域課題を解決し、地域社会を支える人材を育てることが目的です。当社の有するさまざまなICT(情報通信技術)の設備、運用ノウハウといった「アセット」や、社会課題解決に向けた取り組みの知見などを学生に提供していきます。われわれも日々、地域の皆さまと向き合い、試行錯誤しています。今後の本格始動に向け、教育コンテンツの開発も進んでいます。

―協定締結の目的や期待すること。田島 デジタルを活用して地域課題を解決し、地域社会を支える人材を育てることが目的です。当社の有するさまざまなICT(情報通信技術)の設備、運用ノウハウといった「アセット」や、社会課題解決に向けた取り組みの知見などを学生に提供していきます。われわれも日々、地域の皆さまと向き合い、試行錯誤しています。今後の本格始動に向け、教育コンテンツの開発も進んでいます。



NTTe-City Laboを見学する学生ら(上)、実際のデータやツールを使った人流分析のワークショップの様子



NTTe-City Laboを見学する学生ら(上)、実際のデータやツールを使った人流分析のワークショップの様子

―今後の展望は。田島 学生にわれわれの知見をお伝えしながら、一緒に課題解決を検討することは十分にできるといふ手応えがあります。今後は自治体などとも連携して、より具体的な実践まで展開できたら面白いですね。実際の活動においては、アイデアを出す段階ではなく、実行するフェーズに移ると厳格に直面する場面も数多くあります。こうしたシビアな取り組みに体感して

―今後の展望は。田島 学生にわれわれの知見をお伝えしながら、一緒に課題解決を検討することは十分にできるといふ手応えがあります。今後は自治体などとも連携して、より具体的な実践まで展開できたら面白いですね。実際の活動においては、アイデアを出す段階ではなく、実行するフェーズに移ると厳格に直面する場面も数多くあります。こうしたシビアな取り組みに体感して

―今後の展望は。田島 学生にわれわれの知見をお伝えしながら、一緒に課題解決を検討することは十分にできるといふ手応えがあります。今後は自治体などとも連携して、より具体的な実践まで展開できたら面白いですね。実際の活動においては、アイデアを出す段階ではなく、実行するフェーズに移ると厳格に直面する場面も数多くあります。こうしたシビアな取り組みに体感して

先進テクノロジーと、地域課題解決の経験を活かし、持続可能な地域社会を担う次世代のリーダーを育てること。それが、NTT EAST GROUPの大切なチャレンジです。

ミライづくりは、人づくり。

1 ミライ構想カレッジ in 小布施

2 地域カレッジプロジェクト 自治体と教育機関とともに、地域からのイノベーションをめざしたプロジェクトを展開しています。

3 体験型研修を展開 キャンプ場を使い、ビジネスに活かせる「チームワーク」などを学べる体験型研修を実施します。

4 探究学習プログラムの実践 防災・復興を始める体験型学習を提供、次世代教育プログラムを実践、展開していきます。

NTT e-City Labo 先進テクノロジーを学ぶ拠点として提供します。

NTT EAST GROUP

学生も大人も 次世代エデュケーション 成長できる!